

守る会岡山 41号
2019.10.1発行

森永ひ素ミルク中毒の被害者を
守る会岡山

岡山県本部事務局
〒700-0984 岡山市北区桑田町 18-28
明治安田生命岡山桑田町ビル4階
086-232-3855



**酷暑の夏が過ぎ、秋になりました。
実りの秋、読書の秋、食欲の秋
みなさんの秋は何の秋ですか？**



被害者の親の思い！

岡山県本部委員長 森脇 良明

親御さんからお聞きした事件当時のお話を少し紹介したいと思います。

<以下お聞きした内容です。>

当時、私は小学校に勤務しておりましたが、学校側の産休代理教員の手配が遅れたことから、出産直前まで学校に出勤しました。そんな事も影響してか、赤ちゃんは早産で生まれました。

母乳も早く出ず、ミルクで育てました。そのミルクが問題の森永ひ素ミルクでしたが、そんな事とは知らず早く大きくなって欲しいとの一念からミルクの量を少し多めにしてまで飲ませてしまい、1955年に発病しました。

発病当時は、日生の病院に初めて小児科ができたばかりの頃で2名のお医者さんが昼夜交代で診てくれていましたが、家族は、朝になると今日も無事に生き延びたと思うくらい、生きている事が不思議な状態でした。その後、日赤病院で伯父が小児科医長をしていたので日赤病院に転院し、その伯父の薦めで事件発表する前日に岡山大学病院に転院し、治療を続けました。大学病院では、森永ひ素ミルク中毒の重症患者は退院を強要され、大切にしてもらえませんでした。

3歳頃になると、頭にいっぱいおできができて、首筋をつたって血膿が流れるという病気になりました。女の子でもあるし、絶対治してやりたいと思って、近くで診てくれる病院はないかと探しましたが、医師会や大学病院の圧力があつたのか、森永ひ素ミルクの子供を見てくれる病院はありませんでした。しかし、中には看護師さんを全て外に出して、「私は職業上家族を守りたいし、そのために収入を得たいので、この子を見てあげられないが、この子の姿を見ていたらたまらん！」と心底から詫びの気持ちを伝えられた皮膚科を開業したての先生もいました。その先生には頭が下がりました。岡山では診てくれる病院はなかったので1週間に1回、赤穂線を利用して、姫路の病院で治療しましたが、赤穂線に乗ったら、うちの子を見て、若いお母さんは気持ち悪がって、わが子に見せないように顔を腕で隠したり、他の車両に子供を連れて移動したりされました。そんな事が、姫路までずっと続くので私はすごく辛かった。おじいさんも私たちといつも一緒に行っていました。おじいさんは、「この子は可愛い。女の子だからきれいな服もきせたい。よその子のように傷のない顔にして欲しい。」と良く言っていました。

お母さんは思い出しながらお話しして頂きました。

幼少期より障害のある被害者をお持ちの親御さんは、多かれ少なかれみんな同じような辛い経験をされていると思います。

そしてその辛い経験が恒久救済実現の原動力になったのだと思います。

高野山参拝

備前支部 吉田 康子

岡山県本部は、5年ごとに高野山龍泉院、慈母観音像を参拝に行っています。会員の中から「5年ごとでは長すぎる足腰が弱らないうちに行きたい。」との要望があり、今回は早めに開催しました。

新緑を眺めながら、初めて参加された方が多いわりにはマイクロバスの中は、古くからの友達のようにお喋りの花が咲いていました。

山をどんどん登って行くにつれて「高い所まで登って来たね。若い人達が登山して上がって来ている。今度はみんなで登山で上がって来よう。」などと言う話し声「貴方だけ登ってくれば、わたし達はバスで上がるから。」と楽しい話をしながら高野山へ



静寂の中、龍泉院でお経を聴きながら、亡き友の顔を思い出して胸が熱くなりました。新しく書き直された過去帳を拝見し友の名前を見つけては「懐かしいね。こんな事を一緒にしたね。」と亡き友を身近に感じる事が出来ました。

参加者全員で慈母観音像にもお参りに行きました。初めて参拝する人が多かったので「静かな所にあるんだね。」「結構大きいんだ。」などの声が聞こえて来ました。清掃ののち、亡き友のご冥福をお祈りました。

初めて高野山参拝に参加して

備前支部 岡崎 嘉行

私は高野山参拝に初めて参加しました。龍泉院には、この事件により亡くなられた方々の過去帳、位牌が安置され、各都道府県の被害者や関係者などがお参りに来られるそうです。住職さんのお経とともに焼香をし、亡き友の冥福を祈り、過去帳を見せて貰い、友の名前を見つけた人は元気だった頃の思い出話をされていました。

龍泉院を後にし、慈母観音像に向かいました。慈母観音像に向かう道の両脇に各企業のお墓を見ながら進んでいきました。慈母観音像は、木の葉、松笠、雨などで汚れていたもので清掃作業を行い、冥福を祈りました。

今回はスケジュールになく行くことが出来ませんでした。奥の院とか金剛峰寺などを目の前にして高野山を去るのは残念でした。

優先順位は、判っていますが、今後のスケジュールに入れて頂ければ参加者も増えるのではないかと、思います。今回の参加で、この事件を再考することが出来、沢山の知り合いが出来た事がとても良かったと思いました。

第51回守る会全国総会

備中支部 張谷 俊郎



6月23日朝、岡山駅で他の会員の方と待ち合わせをして京都に向かいました。会場の京都烏丸コンベンションホール向かう途中、地下鉄四条駅からは、案内板を持った方が要所に立っていて下さって分かりやすかったです。

総会は2018年度の報告、2019年度の計画などの協議がおこなわれ承認されました。

運動方針に従って役員の方々が地道に活動されて成果を出しているのがよくわかりました。頭が下がる想いです。

昨年は特に、介護保険優先原則の課題に対する行政への要請などを出し、厚生労働省から事務連絡「65歳以降の適切なサービス提供に向けた取り組みに対する協力について」を引き出すことが出来た事は行政協力の前進につながりました。

今年度は、具体的な事例に基づいて個別の問題を解決していかれるそうです。

各都道府県の代表発言では、森脇委員長が岡山県本部の活動

(1)「第三次10ヵ年計画」検討後、守る会の将来構想検討会を。

(2)65歳問題 事務連絡を行政協力懇談会などしっかり活用。

について発表されました。

来年の全国総会は岡山で開催されるとのことです。みなさんできるだけ協力しましょう。

楽生関節クラブに参加して

備前支部 松浦 基晴

紫陽花の花の咲く季節に保健教育講師の赤堀静江先生をお呼びして、健康体操（音楽に乗って身体を動かす）を行いました。

会場のくらしき健康福祉プラザに11人の仲間が集まりました。音楽にあわせ、軽いストレッチから始めていきましたが、手足を動かすたびに、日頃運動していないわれわれにとっては少し不安でした。先生のきびきびした動きを真似しながらやっていると、いつの間にか楽しい空間になっていました。休憩を取りながらの、一時間はあっという間に過ぎていました。



年を重ねるにつれ、腰や膝が痛くなり、年だから仕方がないと、余計に運動に対しておっくうになっていましたが、みんなと一緒に運動をすることで、身体が軽くなるようでした。

改めて運動の大切さを知りました。これからは毎日少しずつ運動をしていこうと思っています。身体も心も健康にするために、みなさんの参加をお待ちしています。

新妻義輔さん講演会

「森永ひ素ミルク中毒事件被害者 命のたたかい64年」

備前支部 山田 恵子



小学生の時、私は“ひ素ミルクの被害者である”と親から教えられました。

その当時の様子は、保健所や病院では親達の悲痛な叫びで大騒ぎだったそうです。

子供ながらも私は大変な事件だったんだと感じました。

ずっと記憶の中で忘れていた事件、ふとしたきっかけで何十年もの時を経て全てを知りたいと思うようになっていた矢先、新妻さんの講演を聞けば自分の知らなかったひ素

ミルク事件の全貌全容が分かるのではと思い出席させていただきました。

お話を聞かせていただいている中で、丸山先生をはじめ、大塚さん、その他の関係者の方々、そして新妻さん達の“ぶれない 被害者を守る立場”のおかげで今があると思えました。

病気とはずっと縁の切れない私にとって医療費の援助は本当にありがたいです。

この先年齢を重ねていく度に病院のお世話になる事が増えると思うと、ここまでの保障を確立してくださった皆様の御尽力には心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



令和元年度の守る会活動予定

☆自主的グループ活動



11月3日(日) 総社吉備路ウォーキング

8:00~12:00 総社市山手公民館広場

11月9日(土) 楽生関節クラブ

13:00~15:00 ぐらしき健康福祉プラザ

学習会・・・守る会運動の歴史から、運動の原点を学ぶ

10月13日(日) 10:00~12:00 岡山国際交流センター

12月15日(日) 10:00~12:00 岡山国際交流センター

☆県本部活動

12月1日(日) クリスマス会(リース作り 参加費 2500円程度)

10:00~12:00 ぐらしき健康福祉プラザ

機関紙「守る会岡山」に記事投稿、エッセイ、活動報告、制作作品など
どしどしお寄せください。お待ちしております。

「守る会岡山」ホームページ <http://www.mamorukaiokayama.sakura.ne.jp>